

ちょっといいかも

北九州発

次世代システム研究会・編

「日本幸福改造論」



次世代に向けた
ストック型社会形成カタログ

次世代システム研究会



学校法人 九州国際大学 次世代システム研究所

ストック型社会に関する政策研究・総合コンサルティング

次世代システム研究会の拠点としての研究所。

経済、生活、環境・資源の統合的解決に向けたストック型社会転換を国・地方自治体から民間のまちづくりまで、ハード・ソフトの両面から支援いたします。



九州国際大学
次世代システム研究所
〒805-0059
北九州市八幡東区尾倉二丁目6番1号
電話:093 661 8772
FAX:093 661 1612
URL:<http://www.fss-kiu-ac.jp/>

はじめに

「ストック型社会」という言葉がようやく国内で市民権を得始めてきました。未だ国民全体の共通認識には至ってはいませんが、多岐にわたる幅広い分野の人々の確たる理解と共感を得ています。これまで複数の中央省庁や地方自治体、あるいは業界や各種民間団体等との協業を続けてきましたが、最近では国の政策提言にも上がり新聞・雑誌等メディアの話題にも取り上げられるようになりました。この考え方の骨子は次の世代の生活を豊かにし、経済構造を健全化し、加えて地球環境の保全と資源的自立を目指すものです。

概ね10年前から始まったECO-ECO(Economy as Ecology)理論の、一つの結論として得られた「ストック型社会論」も、各専門分野からの理論形成が一通り成立したように思われます。今はそれを具体的なカタチで示す、つまり次世代に向けた新しい国土形成、地方自治体レベルのストック型地域形成がスタートする前夜に在るような印象を持ちます。そこで「ストック型社会」を実現する要素となる製品や技術、あるいは転換に必要なファイナンスやプロジェクト・マネジメント等を含めたカタログをまとめました。日本のストック型社会転換が円滑に進むための一助になればと思います。

次世代システム研究会 会長 平澤 冷

東京大学名誉教授
Knowledge Front Inc. 代表
専門分野：科学技術政策研究、技術経営論、システム論

日刊建設経済新聞
2005.11.1



朝日新聞 2006.10.26夕刊



読売新聞 2006.9.30朝刊



▲新築ハウジング 2006.10.20

▲日刊建設経済新聞 2006.7.25

▲読売新聞 2006.9.4夕刊

▲西日本新聞 2006.1.22朝刊

ストック型社会論のプロローグ 典型的な日本人～ローマにつまずく～

1980年代、日本経済が世界に向かって鼻息荒く突進していた頃の話です。私も鉄鋼関連の技術協力やローマ駐在員などで、その時代の10年前後をイタリアで過ごすことになりました。当初、イタリア経済は国家的破綻と言われ、国の借金も現在の日本の比ではないほど膨大で失業者も町に溢れ、密輸タバコを売る人々が駅や街角、高速道路の入り口などに溢れていました。当時の日本はというと、産業も戦後復興を終え技術レベルも急速に高くなり外国に技術輸出できるようにもなり、我等の通貨「円」もドルに引けを取らないように強くなりGDPや賃金なども世界のトップレベルに至るようになりました。そんな訳で、ヨーロッパの国々に技術指導に出かける日本人のプライドは極度に高揚したものです。

生活に慣れると、趣味の野鳥観察でもするようにイタリアを見られるようになりました。彫刻と噴水が絶妙な位置関係で並んだ町の広場、わずかな色の違いが織りなす繊細なパターンの堅固な石舗道、レリーフ壁がある家々、鉄扉と微妙な調和をみせる門壁のアーチ、その大扉の把手も蝶番も年代物の落ち着いた輝きを見せています。古い。だが完璧なまでに美しい。ローマのような都会はもちろん、どんな田舎にも彼等が誇る町の美があるのです。イタリアの町の空が美しいのは、もしかして空を美しく見せるために建物と建物の間の空間が、意図的に設計されているからではなからうかとさえ思えます。

どの都市どの町にも必ず新しい部分がありますが、その新しい部分と古い部分の調和は、ほぼ完璧なまでにとれています。家の中にも、必ず彼等が誇るその家の美があります。古い家具と新しい調度の完全なまでの調和があります。イタリアの友人たちは、しばしば食事に招待してくれました。そこでの会話はときに優雅で、ときに物事の本質に迫った緊張感がありました。貧富の差は確かにありますが、国家経済破綻といわれる中で国民の誰もが、そうタバコの密売人まで夏には最低1ヶ月のパカンスをとり、多くの人々が別荘を持っています。本物の豊かさとはこんなものなのだ。

世の中にそんな豊かさがあることに気づいた当初、なにか釈然としない気分が悩まされました。賃金やGDPで見る限り、日本が世界の金持ち国と呼ばれるようになってから久しかったからです。だが、日本のこれは違う！本物の豊かさとは何かが違う。年収もGDPも低い彼等の方がなぜ豊かな暮らしをしているのでしょうか？ どうやら金持ち、つまりお金を持っている者が必ずしも豊かな生活をしているわけではない

ようです。生活や生きることを楽しむイタリア人の豊かさの根源は、いったい何でしょう？ 胸張ってローマに来たが思わぬところでつまづいてしまったものです。

日本とヨーロッパの生涯収支の比較



この矛盾の根源が「世代を超えたストックの有無」にあることが分かるまでにかかなりの時間を要しました。かの地は家や家具から公共の社会資本までが長寿命型で、世代が進むにつれ資産が蓄積するストック型社会なのだ。例えば曾祖父が土地と屋敷を手に入れ祖父が家具を揃え、親の代で什器・調度を整え自分は庭を造るというように。これに対して日本は、平均寿命30年の家に代表されるようにモノの寿命が短く、世代ごとに全てを更新しなければならないフロー型社会です。だから生活コストは彼等の2倍近く、私達は常に働き続けなければなりません。賃金やGDPが高く名目上の経済大国であり得ても、このように一世代限りで稼ぎを使い果たすスタイルを続けるかぎり、私達は実質的な「豊かさ」を得られません。

さてそれから二十数年を経て、次世代システム研究会やECO-ECO研究会の活動成果もあり、最近では日本でも「ストック型社会」という考え方が、ようやく理解されるようになりました。その一例が建物です。最近の立法府筋の政策案に、これまで議論されてきた100年住宅より進んだ200年住宅の構想が浮上してきました。これは日本の近未来を考える場合、極めて重要な意味を持ちます。なぜなら現在65億の世界人口が2050年には90億人を超えるという状況の中では、後の世代では資源が枯渇して、家の建替えも今のように自由にはできないでしょう。加えて少子化の日本では、経済活力を維持するために資産の蓄積が重要になります。建物や各種社

会インフラの長寿命化は資源蓄積と資産蓄積の二つの意味を持ちます。後の世代にとっては、家に限らずあらゆる資産の寿命は少しでも長い方がよいのです。

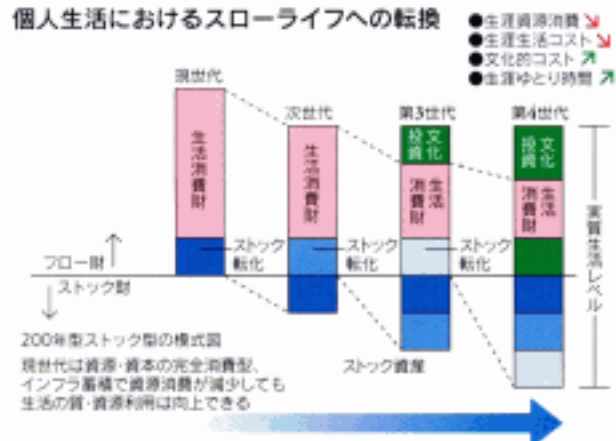
だが地域の将来がどうなるか分からずに、団地の中にひとつ200年住宅を建てても意味がありません。建物を長寿命にするためには、同時に地域全体の近未来像をきちんと計画する必要があります。それも物理的な寿命だけでなく子孫が喜んで使ってくれるものでなければなりません。機能的にも、景観や文化的価値の持続、さらには予測される地球環境の変化や災害をも前提にした長寿命性が重要です。幸いこのような課題を解決する技術や理論は、個々にはあるが日本にもあります。このカタログで紹介されているのはその一部の事例です。これを組み合わせて地域自らが理想のゴール、つまりストック型地域圏を描くことはできるのです。

国民の理解を得る上で200年住宅を基軸にしてもよいでしょう。これをベースに日本をフロー型からストック型社会へ転換していけば、イタリアやフランスのように国民生活の質は向上していきます。また個人資産や社会資本の蓄積で国や地域を実質的に豊かにできます。その結果は世代あたりの生活コストひいては日本の社会コストを下げ、国際コスト競争力の回復で国内産業を復活させ、現在の歪んだ雇用構造等も健全化できます。つまり経済の国際競争の中で日本人を活かせる社会に戻れるのです。

また建設に膨大な資源とエネルギーを要する建物や各種インフラを繰り返し造り替える社会からの脱却は、世代あたりの資源負荷を緩和し地球環境問題への根源的対応ができます。資産の蓄積は同時に資源の蓄積を意味するので、日本を資源的自立に近づけます。つまり「資源の無い日本」ではなく「資源を蓄積した日本」になるのです。ストック型社会への転換は、多くの矛盾の同時解決を目指した、日本のパラダイム転換の政策となる可能性を秘めているのです。

今後はモノの長寿命化に必要な初期コストの増加分を世代毎に分担出来る税制や各種の金融制度等の改正、資金の議論がもっと必要でしょう。現在、日本の資金は海外の雇用と資産形成に大いに貢献しています。海外投資から得られる国際所得収支は12兆円を超えるようになっています。ここでストック型地域圏という魅力的な投資先を国内に創出することで、できれば海外で運用されている日本の資金の一部を日本の資産形成にまわしたいものです。つまり「日本の資金で日本人の資産をつくろう」ということです。幅広い分野に波及する困難なテーマではありますが、ストック型社会への転換は日本が早急に着手すべき政策だと考えられます。日本の贅肉を落としたと言われる小泉改革の続きは、近未来の日本の骨格と筋肉を設計し、それを創り出すことでしょう。その改革のゴールとなる「シェイプアップ日本」の体型(大計)を示す政策は、日本人に夢と希望を与えるものになるはずで、地域もそれに向けたビジョンを持って活動を展開すれば、日本各地に新たな活力が生まれるでしょう。

個人生活におけるスローライフへの転換



資源消費の比較



かつてローマの地で思った事は、世界一勤勉で過労死するほどまじめな日本人は報われない、ということでした。それは広い視野と長い視点を私たち日本人がフロー型社会の多忙さの中で失ってしまったからだ。ならば日本をストック社会に転換することが大切だと考えたのです。

ストック型社会とは

「ストック型社会」とは、まず①社会資本・個人資産を長寿命型にし、モノとしての資産の世代間蓄積を図る社会です。その結果、国や地方自治体の財政や国民の生涯収支に「ゆとり」が生まれ豊かな社会になります。さらに②後世代の生涯資源消費量が小さくなり、国・地域における資源的自立も可能になります。③これによって持続的な社会繁栄と地球環境保全を両立できる社会になります。

戦後の日本の経済成長は、これとは逆のフロー型社会を形成してきました。現在の日本社会が直面している重要課題の多くは、このフロー型社会システムに根源があるようです。例えば日本の賃金は、世界トップの位置にありフランスの2倍、中国の30倍です。一方で生活コストは、フランスは日本の1/2です。経済学で言う購買力平価は同じでも、両者の間には長寿命型のストック(社会資本・個人資産)を保有しているかどうかの違いがあります。家屋だけでなく多くの公共資産やその他の個人資産の寿命(耐用年数)を何世代も使えるフランスや他の先進国に比べ、日本はそれらの寿命が極端に短く毎世代更新しなければなりません。そのことが経済的にも資源的・地球環境的にも世代あたりの負担を大きくしています。

世代を超えた資産を保有しているか否は、国民の生活経済から文化まで国民の生活レベルを決定付けることになります。長寿命型ストックが有る国では、生涯収支に「ゆとり」があるので、その「ゆとり」の部分がバカンスになったり文化投資になり、国民が豊かな人生を享受できているのです。一人当たりGDPや賃金が日本よりはるかに低いフランスやイタリアの人々の生活や文化が、私達より遥かに豊かである理由は、ここにあります。この構造は、国や地方自治体の世代収支でも同じです。国も自治体も長寿命型社会資本を蓄積し、「ゆとり」が生まれた分は、経済や国際環境の変動に対するバッファ効果になったり、文化投資に当てられます。

経済がグローバル化した現在、日本の高コストが国際競争力を著しく低下させています。その主因は世界トップレベルの高賃金に在ることは、産業連関のコスト集積過程から明白です。従って日本の産業経済の健全化には、日本の高賃金問題の解決が必要です。日本人の生活レベルを維持しつつ、賃金レベルをフランスやイタリア並に健全化するには、日本をストック型社会に転換するのが妥当でしょう。そうなれば日本の国内産業も、国際競争の中で持続的に存続できます。

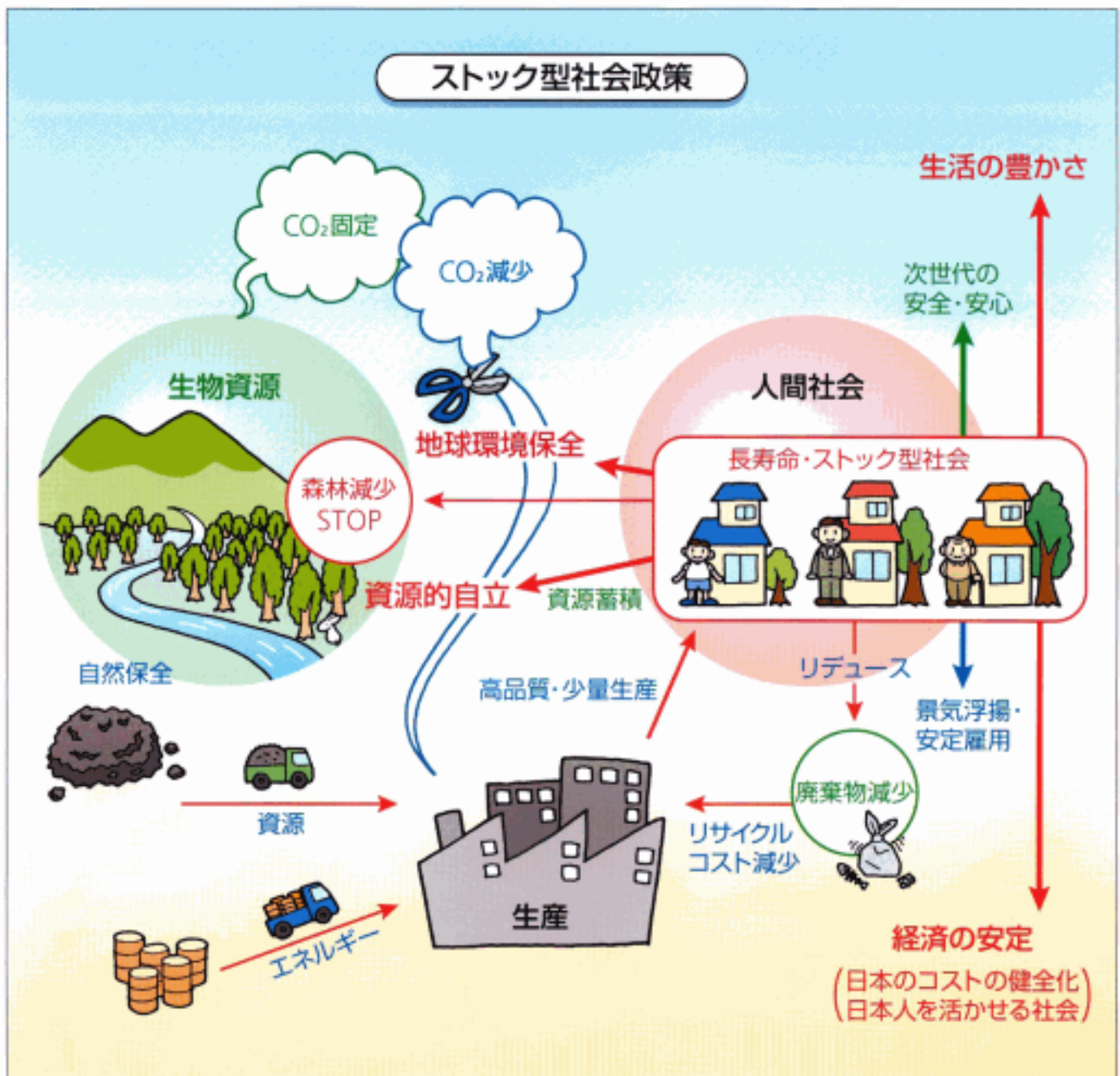
資源量が大きな建築物・構築物・各種インフラ等を世代毎に造り変える分、私達は大量の資源消費とCO₂放出を繰り返していくことになります。地球環境問題も目先の目標だけでなく世代を超えた長視点でみれば、劇的な解決ができます。例えば日本のエネルギーの約50%は素材や土木建設などの産業分野で消費されます。仮に日本のモノの寿命をヨーロッパ並みに4~7倍に変えれば、後の世代の産業分野のエネルギー消費量を1/4~1/7にできることを意味します。森林資源をはじめ生物資源についても長寿命化した分、その保全が可能になります。

将来に目を向けると経済活力の低下が危惧される少子化の日本ですが、日本国土の生物学的ヒト収容能力は7千万程度と推測されています。同様に地球の持続的収容力は多くの計算で35億人~50億人と言われる中で、世界人口は既に65億人になり今後も指数的に増加し、2050年には90億人を超えます。そのような経過の中では、エネルギー・食料をはじめ多くの資源が不足し、国家間の競争が激しくなるのは必至です。広い視点で世界を俯瞰し長い視点で一世代後の時代を見れば、日本がとるべき政策は人口を増加させることではなく、社会資本を長寿命型にし資産蓄積と資源自立圏を構築するストック型社会への転換政策です。

一方、豊かな国の資金は投資先を求めて世界を駆け巡っています。日本の資金も同様に、中国をはじめ世界の発展途上国に投資されています。例えば賃金が日本の1/30の中国では、人件費効率が日本の30倍の速度で資産形成が図られています。他方、日本国内では長寿命型に向けた資産再形成の必要があるわけです。つまり国内に世代を経ても価値が劣化しないという魅力的な投資先を設計すれば、日本の資金で日本の資産を形成することができるのです。急速に変化する世界情勢の中で次世代社会に向けた「ストック型社会への転換」というこの政策、つまり北海道から沖縄まで国土の再形成に早急に着手する必要があるのです。その過程は国内全体に景気の浮揚と雇用の創出を産み出します。その究極の目的は、国民を豊かにし・経済構造を健全化し・資源的自立と地球環境の持続的保全に在るのです。

日本をストック型社会に転換するための技術や製品は、既に日本の国内や地域にも存在しています。ここに紹介された企業はその代表的な事例です。

ストック型社会の概念図



- 長寿命型社会資本の世代間蓄積 (ゆとりの蓄積)
- 資源自立圏形成と次世代の資源的(国家)安全保障
- 持続可能な人間社会と地球環境

ストック型ものづくりの指針

ストック型ものづくりとは

以下6項目の要件をバランスよく備え、結果として ①モノとしての資産の世代間蓄積を図れ、
②後世代の生涯資源消費量が小さくなり、
③持続的な社会繁栄と地球環境保全を図れるモノや仕組みであること。

長く使いつづけられるための配慮

1 物理的に長く持つこと

基本的な仕組みやデザイン(スケルトン)の部分は単純明快で、長く持つ要素で造られているなど。

2 変化への対応性が高いこと

技術的な進歩や生活や社会の変化に対し対応できるフレキシビリティがあること。

3 価値が長く変わらないこと

文化性が高かったり、機能の陳腐化が少ないことにより、経済的価値が持続し世代を超えて長く使い続けられるモノ。

環境の持続性への配慮

4 資源自立・エネルギー持続への配慮

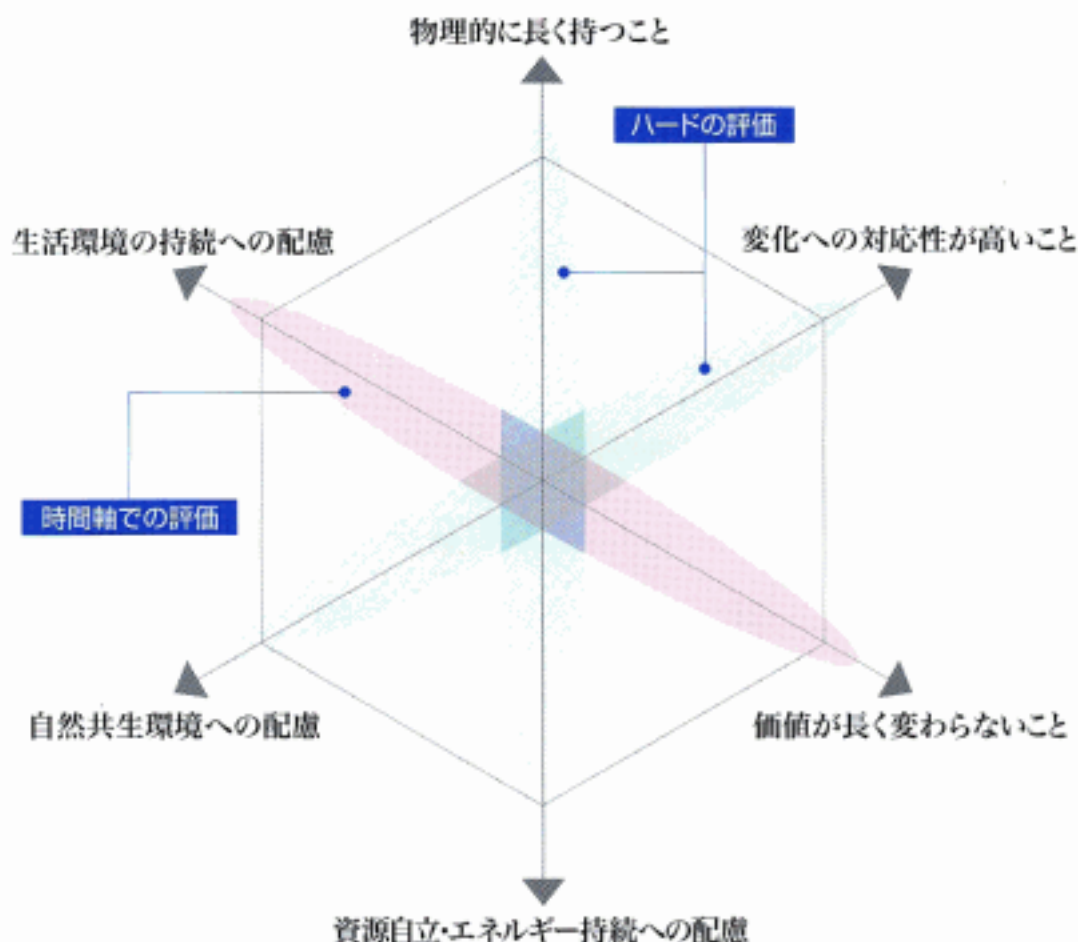
使用材料の再利用、省エネルギー型機器、資源自立型地域の形成など、環境負荷や資源の消費を軽減するように造られていること。

5 自然共生環境への配慮

生活環境にやさしい配慮がしてあることや、地域にある自然を上手に活用していること。

6 生活環境の持続への配慮

地域の文化や生活の仕組みになじみ、コミュニティ・地域経済の持続性を高める機能を持つこと。



A. 長寿命型ストック モノ、つまり個人資産や社会資本等を長寿命化するもの。
物理的な長寿命性だけでなく、意匠的あるいは文化的な価値の持続性等も含む。

| | |
|---------|---|
| 原材料・素材 | 用途が土木・建築ならば、従来の仕様に比べ格段に長期間の使用に耐えるもの。 新規の素材・素材加工・組合せ・利用法等で、長寿命型にする技術や理論。 |
| 設計 | 従来の仕様に比べ格段に長期間の使用に耐える、物理化学的寿命に加え、世代を経ても劣化しない機能および意匠・文化面の価値を含めた設計。 |
| デザイン・景観 | 部分最適でなく全体最適に立った設計技術や理論。 風景・風土・地域文化に立脚した設計技術や理論。 |
| 基盤 | 長寿命型資産を集中的に蓄積する場所の選定技術・理論。今後200年以上の期間に、各種の自然災害を回避できる場所・地域の診断技術。 将来において利用すべき自然条件の選択のための技術と理論。 |
| 施工 | 長寿命型の建築物や構造物等を造り込める技術と理論。 長寿命型の建築物や街区・団地等の開発など。 |
| 設備 | 長寿命型の設備機器・システム。 |
| メンテナンス | 建築物や構造物あるいは設備を長期間利用するための、維持管理の技術。 |

B. 資源自立 モノの寿命を長くすると資源消費量が減少するため、地域自前の資源あるいは何らかの形ですでに蓄積されてきた資源で、域内の必要資源をまかなえるようにすることである。

| | |
|------------------------|--|
| 非生物資源 | 鉱物や化石燃料起源の素材を加工して、より長寿命型にする技術や理論。モノつまり加工された製品あるいはその構成要素を長寿命型化する。 例えば嵌合接合で、建築物・構造物の建替や造替の時、その構成材料をリサイクルではなくそのままリユースできるようにする技術、あるいは廃棄物を再利用する技術。 |
| エネルギー資源 | 石油など化石系燃料起源のエネルギーに依存せず、水力・風力や太陽など自然エネルギー、植物起源のバイオエネルギー、原子力エネルギーなど、エネルギーの国内自立、地域圏自立を目指したもの。 |
| 生物資源 | 国内あるいは地域圏の、日照量・降雨量・栄養塩で毎年再生産される生物系の資源。基本的には、この資源の生産量と消費量を同調させることで、人間社会と地域環境が持続両立できる。生物資源の地産地消のモデル。 |
| 木質資源 | 地域圏における森林資源の生産量と持続的に利用可能な資源量のモデル等に関する技術や製品。 |
| 食料 | 各種食料の地産地消モデル。 |
| 生物資源リサイクル | 生ごみ・廃材など生物資源のリサイクル、つまり栄養塩の域内循環を促進する技術や製品。 |
| 資源キャパ・モデル (資源自立モデル) | ある地域圏の面積・地形・地質・気候等々の諸条件下で地産地消した場合の収容可能な人口、あるいは地域において持続的に利用可能な資源量の推定等に関する技術。 |

C. 社会システム ストック型街区や各種プロジェクトの展開時に必要なマネジメント、ファイナンスに関するコンサルタント等。

九州木材工業

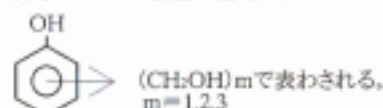
21世紀の高性能保存処理木材「エコアコールウッド」

エコアコールウッドの概要

エコアコールウッドは水溶性の低分子フェノール樹脂を木材に減圧・加圧注入し、養生後、乾燥～加熱硬化してできる高性能保存処理木材である。特徴は防腐・防蟻性能や寸法安定性が極めて高く、さらに環境にやさしい長寿命型ストックの木材である。

エコアコールウッドの特徴

低分子フェノール樹脂の構造式は



この樹脂は水溶性であり、分子量が小さく木材への浸透性に優れている。また、注入後は加熱して木材中の樹脂を高分子化することで、無害な安全性の高い樹脂に変化し、腐朽菌やシロアリの攻撃を阻止する。耐久性の発現のメカニズムであるが、腐朽菌やシロアリは木材を栄養源として攻撃する。素材であれば屋外に放置しておくとも簡単に劣化、分解されてしまう。一方、エコアコールウッドは木材組織が樹脂で被覆されているので簡単には劣化分解が起こらない。さらに、樹脂が木材組織の細胞壁に浸透し固定されているので、膨張・収縮が抑えられ寸法安定性も高くなる。

エコアコールウッドの製造工程



素材検査



・含水率管理



薬剤注入



減圧・加圧方式による
注入方法
・低温の恒温室で行う



注入後養生



注入した薬剤を材中で
均一化させると同時に
天然乾燥する



乾燥～熱硬化

養生後、注入した
薬剤を熱硬化
(高分子化)する

エコアコールウッドと従来技術及び素材との比較

・屋外暴露試験
(3年経過の割れの状況)
左から
素材 鋼系 エコアコールウッド



・屋外暴露試験
(10年経過の耐久性の状況)
素材の地際部は、かなりひどく劣化しているが樹脂含浸処理木材の方は全く劣化がみられない。
紫外線による表面劣化も素材はかなりひどく劣化しているが、樹脂含浸処理木材の劣化の程度は極めて小さい。



エコアコールウッド製品例



愛知万博 ガスパビリオン



東屋



規格品 角材

エコアコールウッドに関する認定及び登録

- ・AQ(優良木質建材等認証)
樹脂処理保存処理木材 AQ-232-11-1
樹脂処理屋外製品部材 AQ-232-12-1
- ・財団法人日本木材保存協会認定材料 B-5006
- ・国土交通省NETIS登録QS-040008



愛知万博 ガス・パビリオン

製品名 エコアコールウッド

キャッチフレーズ 地球環境保全のための保存処理木材

分類 A長寿命型ストック (原材料・素材)

素材・特徴 従来の保存のメカニズムを変え、低分子の樹脂を主に、木材組織の細胞壁に浸透させ、耐久性(防腐・防蟻)は勿論の事、寸法安定性・割れ抑制効果を格段にUPさせました。木質感を残したまま無毒でより安全な高性能処理木材にしました。

【企業名】(福岡県工業技術センター)
九州木材工業(株)

【所在地】 福岡県筑後市
大字和泉309-1

【TEL】 0942-53-2174

【FAX】 0942-52-5158

【URL】 <http://www.kyumoku.co.jp>

【MAIL】 kmkk@kyumoku.co.jp



製品名 床タイル「エプロ」、舗装用レンガ「NUBRIK」、積レンガ「DESIMPEL」、断熱材「WDS」、住宅用外壁材「ハリウォール」

キャッチフレーズ 「百年素材」～次の世紀へ伝わる品質

分類 A長寿命型ストック (原材料・素材)

素材・特徴 窯で焼成した「焼きもの」を素材とした、耐久性と意匠性に優れた商品です。

【企業名】 黒崎播磨(株)
生活空間セラミックス事業部

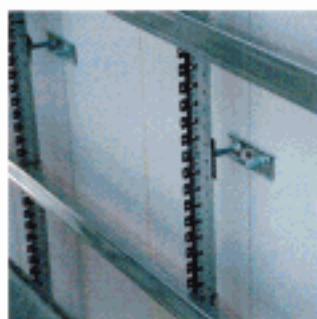
【所在地】 福岡県北九州市
八幡西区東浜町1-1

【TEL】 093-622-7281

【FAX】 093-622-7206

【URL】 <http://www.krosaki.co.jp/>

【MAIL】 w-keikan@krosaki.co.jp



製品名 外断熱工法に使用する
軽量鉄骨壁下地工法(ケーワン工法)

キャッチフレーズ コンクリート躯体の外側に軽量鉄骨で下地層をおこない、断熱材との組合せで外気の影響によるコンクリートの劣化を防ぎ、高い断熱性を確保します。

分類 A長寿命型ストック (原材料・素材)

素材・特徴 軽量鉄骨壁下地組が可能な幅ではコンクリート造・ALC造・鉄骨造・木造、下地組は、無溶接・ワンタッチ工法で変形追従性を有する。仕上材は、窯業系サイディング・金属系サイディングほか対応可能。

【企業名】
(株)ケーワン

【所在地】 福岡県北九州市
小倉南区新曹根3-15

【TEL】 093-472-5872

【FAX】 093-472-5863

【URL】 <http://www.k-wan.co.jp>

【MAIL】 johji@k-wan.co.jp



製品名 クロム系ステンレス異形鉄筋NSSD410-295

キャッチフレーズ コンクリート構造物の耐久性を飛躍的にアップさせるステンレス異形鉄筋です。

分類 A長寿命型ストック (原材料・素材)

素材・特徴 耐食性に優れた低コスト型のステンレス異形鉄筋です。従来の塗装鉄筋に比べ、加工・取扱いが容易でコンクリート構造物の耐久性向上、設計自由度アップに貢献します。

【企業名】
新日鐵住金ステンレス(株)

【所在地】 東京都中央区
日本橋本石町3丁目2-2

【TEL】 03-3276-4890

【FAX】 03-3276-4928

【URL】 <http://www.ns-sc.co.jp/>

【MAIL】 oomura.keiichi@ns-sc.co.jp



製品名 太平洋エクスパン

キャッチフレーズ コンクリートのビルやマンションなどの強力な味方。太平洋エクスパン。コンクリートに少量添加するだけで「ひび割れ」を大幅に低減し、耐久性UP!

分類 A長寿命型ストック (原材料・素材)

素材・特徴 ひび割れを低減し、自己強度発現性も大きいコンクリートの耐久性を高め、建築・構造物の恒久化を実現します。数世代に耐えるコンクリート建築・構造物の関与製品です。

【企業名】
太平洋マテリアル(株)

【所在地】 東京都中央区
日本橋本町4-8-15ネオカワイビル

【TEL】 03-3278-5319

【FAX】 03-3278-5359

【URL】 <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

【MAIL】 norihisa-tatsukawa@taiheiyo-m.co.jp



次の世紀へ伝わる品質
百年素材

K ROSAKI HARIMA

黒崎播磨株式会社

生活空間セラミックス事業部

<http://www.krosaki.co.jp/>

〒808-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

TEL. 093-622-7261 FAX. 093-622-7208

E-mail: w-keikan@krosaki.co.jp



床 タイル

モース硬度 B という耐摩耗に優れながら、滑抵抗係も高い床タイルです。



舗 装用レンガ

泉州の良質な粘土を 1200 度近い高温で焼成した非常に耐摩耗性に優れた舗装用レンガです。面取りも最小限にとどめ、歩行感にも優れています。



積 用レンガ

従来では困難であったハンドメイドレンガに通し筋目のホールを設けずにより、耐震性と耐火性を両立させたレンガです。



断 熱材

静止空気をもしにくく断熱性で、居住空間の長寿命化、省エネに貢献します。



住 宅用外壁材

焼き物では困難であった大面板を精度よく焼成することにより、セラミックのパネル化を実現。素材そのものの高耐久に加え、従来の湿式工法と比較し、耐震性に優れた施工品質の安定化を実現しました。



| | |
|--------------|---|
| 製品名 | みのうすま 「耳納杉」産直住宅 |
| キャッチ フレーズ | 福岡県産材を使った地産地消の家づくり |
| 分類 | A.長寿命型ストック (原材料・素材) |
| 素材・特徴 | 筑後川流域の耳納地区で育った杉材。2ヶ月間葉枯らしさせ、その後5ヶ月以上自然乾燥させた、色・ツヤの良い木材を使って産直住宅づくりをすすめています。 |

| | |
|--------|---------------------------|
| 【企業名】 | 「耳納杉」産直ネットワーク |
| 【所在地】 | 福岡県福岡市東区社領1-2-9(福中協内) |
| 【TEL.】 | 092-621-7035 |
| 【FAX.】 | 092-621-5788 |
| 【URL】 | http://sanchoku.fkchk.net |
| 【MAIL】 | fkchk@basil.ocn.ne.jp |



| | |
|--------------|---|
| 製品名 | 人にやさしい建築づくり |
| キャッチ フレーズ | 次世代まで使い続けられる建物づくり |
| 分類 | A.長寿命型ストック (設計) |
| 素材・特徴 | 竣工時はもちろん、10年、20年と次世代まで価値が持続する建築計画を行います。またユニバーサルデザインを意識した人にやさしい住まいや建物を目指します。 |

| | |
|--------|---------------------------|
| 【企業名】 | 安東建築設計事務所 |
| 【所在地】 | 福岡県北九州市八幡西区六生2丁目14-14 |
| 【TEL.】 | 093-641-9177 |
| 【FAX.】 | 093-621-2282 |
| 【URL】 | |
| 【MAIL】 | ando_arc@silk.plala.or.jp |



| | |
|--------------|--|
| 製品名 | パッシブ建築設計 |
| キャッチ フレーズ | |
| 分類 | A.長寿命型ストック (設計) |
| 素材・特徴 | 建築物の長寿命化「パッシブ手法」によるエネルギー負荷の低減を目指し、建築物の設計に取り組んでいます。 |

| | |
|--------|---------------------|
| 【企業名】 | (株)西部交通建築事務所 |
| 【所在地】 | 福岡県北九州市門司区清滝1-2-1 |
| 【TEL.】 | 093-331-3578 |
| 【FAX.】 | 093-331-3579 |
| 【URL】 | |
| 【MAIL】 | seibu@rio.odn.ne.jp |



| | |
|--------------|---|
| 製品名 | 総合建設コンサルタント |
| キャッチ フレーズ | 「誠実・迅速・正確」をモットーに ●既存する各種構造物の延命化技術への対応。●次世代に引継ぐ新設構造物の長寿命化技術への対応に取り組んでいます。 |
| 分類 | A.長寿命型ストック (設計) |
| 素材・特徴 | 土木・建築・上下水道・環境エネルギー部門の計画・設計・監理・測量・地質調査業務 |

| | |
|--------|-----------------------|
| 【企業名】 | (株)松尾設計 |
| 【所在地】 | 福岡県北九州市八幡東区西本町2-5-5 |
| 【TEL.】 | 093-661-4970 |
| 【FAX.】 | 093-661-8962 |
| 【URL】 | http://www.mcon.co.jp |
| 【MAIL】 | matsuo@mcon.co.jp |



| | |
|--------------|---|
| 製品名 | (株)環境デザイン機構 |
| キャッチ フレーズ | 住宅から都市計画まで総合デザイン事務所 |
| 分類 | A.長寿命型ストック (デザイン・景観) |
| 素材・特徴 | 迷惑(静脈)施設、子育て支援住環境、都市の記憶などをキーワードに、住宅設計からワークショップ、地域再生、都市計画まで、デザインの質を追求する総合事務所 |

| | |
|--------|--------------------------|
| 【企業名】 | (株)環境デザイン機構 |
| 【所在地】 | 福岡県福岡市南区大橋2-2-1マルイビル2F |
| 【TEL.】 | 092-553-0560 |
| 【FAX.】 | 092-553-0561 |
| 【URL】 | http://www.kankyo-dk.com |
| 【MAIL】 | kd@kankyo-dk.com |

新日鐵グループの ステンレス構造材

新日鐵住金ステンレスの建築構造用ステンレス鋼をはじめ、ボルトや溶接材料も取り揃え、新日鐵グループで設計から加工・施工にいたるまで全面的にサポートし、みなさまのご要望にお応えします。

SUS 304 A
SUS 316 A
SUS 304 N2A

*JIS規格化(JIS G4321)されたニッケル系のステンレス構造材で、数多くの実績があります。

YUS® 410W-MS
NSSD® 410-295

*コストパフォーマンスに優れた新しいタイプのクロム系のステンレス構造材で、建築基準法第37条による大臣認定を受けています。
YUS 410W-MSについては、品確法の劣化等級3(75~90年の耐久性)の基準に適合しています。



洞室上層



工場事務所区配筋



半露付工場



護岸堤防

新日本製鐵株式會社

構造材全般に関するお問合せは、本社・建材開発技術部 ☎03(3275)6720、または最寄りの各支店・営業所までお寄せ下さい。

新日鐵住金ステンレス株式会社

ステンレス構造材製品に関するお問合せは、本社・商品技術部 ☎03(3276)4890、または最寄りの各支店・営業所までお寄せ下さい。



製品名 律周舎

キャッチフレーズ 骨太の木造長寿命エコ住宅

分類 A長寿命型ストック (施工)

素材・特徴 低環境負荷・資源循環型の木造エコ住宅として我が国だけの木材供給で循環系をなせることを目的とし、スパンの5寸角の柱を持つスケルトンインフィルの100年住宅を建設。

【企業名】
京大大学生存圏研究所

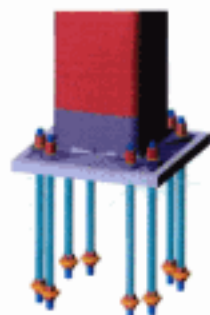
【所在地】 京都府宇治市五ヶ庄

【TEL】 0774-38-3601 代表

【FAX】 0774-38-3600

【URL】 <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/index.html>

【MAIL】
webmaster@rish.kyoto-u.ac.jp



製品名 スーパーハイベース工法

キャッチフレーズ 鉄骨造露出型柱脚工法スーパーハイベース

分類 A長寿命型ストック (施工)

素材・特徴 1、高張力アンカーボルトの採用 2、アンカーボルト配置の合理化 3、ニアネットシェイブの精鋼製ベースプレートの効果により従来の工法に比べ耐震性を高めた上に使用鋼材量が減りました。

【企業名】
(株)日立金属若松

【所在地】 福岡県北九州市若松区北浜1丁目9-1

【TEL】 093-761-3053

【FAX】 093-761-5332

【URL】

【MAIL】



●サイズ/W310XD175XH700
●重量/15.0kg

製品名 光水 CR-2000

キャッチフレーズ 一台設置するだけで、家中すべての蛇口からきれいな水がたっぷり使えるセントラル方式浄化・活性システム。

分類 A長寿命型ストック (設備)

素材・特徴 自然界の地層を最新のテクノロジーで再現したカートリッジを搭載。生活全体の水を安全できれいにすると同時に、給水設備の寿命にも効果を発揮。本体はステンレス製で高耐久性を実現。

【企業名】
(株)クロスポイント

【所在地】 福岡県北九州市小倉北区片野4丁目21-14

【TEL】 093-931-3363

【FAX】 093-931-3383

【URL】 <http://www.emizu.co.jp>

【MAIL】
crosspoint@emizu.co.jp



製品名 SPガーデンシステム

キャッチフレーズ 薄層・軽量で優れた景観を実現する屋上緑化システムです。

分類 A長寿命型ストック (設備)

素材・特徴 高い保水性と排水性を両立させた軽量土壌を用いたシンプルな構造の屋上緑化システムで芝・草花類であれば土壌厚7cm、湿潤時重量60kg/m²からご利用頂けます。

【企業名】
(株)スピナ(緑化)

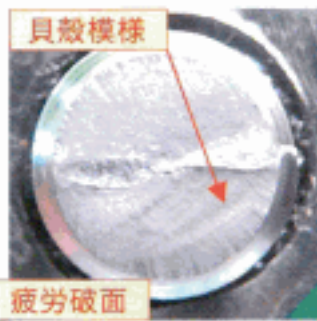
【所在地】 福岡県北九州市八幡東区平野3-2-1

【TEL】 093-671-2318

【FAX】 093-671-2306

【URL】
<http://www.spina.co.jp>

【MAIL】
sp-rkk@spina.co.jp



製品名 機械部品・構造部材の破損診断解析技術

キャッチフレーズ 受託件数2000件の実績でお応えします

分類 A長寿命型ストック (メンテナンス)

素材・特徴 新日鉄の鉄づくりで培った豊富な経験と充実した評価解析機器で、誠実対応。

【企業名】
(株)九州テクニサーチ

【所在地】 福岡県北九州市戸畑区飛幡町2-1

【TEL】 093-872-5405

【FAX】 093-872-5368

【URL】
<http://k-t-r.co.jp>

【MAIL】
maruyama@k-t-r.co.jp

化粧水でも清涼飲料でもありませんが、 素肌につけたり、飲んでいたかもしれません。

この写真は、浄水器カートリッジ内にたまった水道水中の不純物です。^(※)

透明に見える水道水にもこんなに不純物が含まれているのです。

次世代標準浄水器として誕生したセントラル方式浄化・活性システムは、水道水を一括浄化、

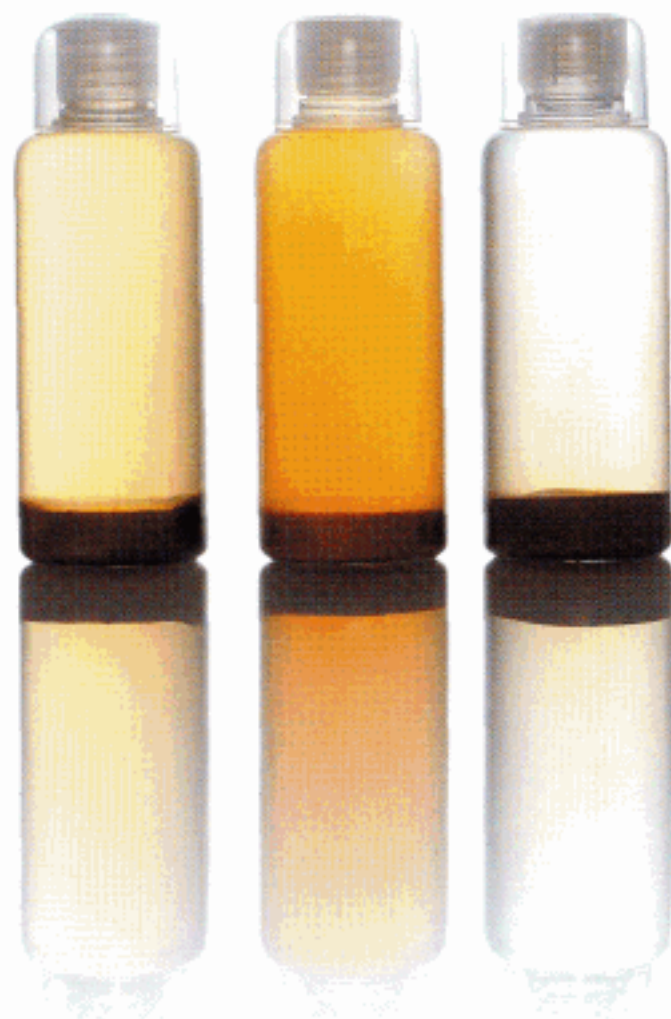
大切なミネラル分はそのまま、水道水に含まれる不純物はしっかりと除去します。

キッチンはもちろん、お風呂・洗面所・トイレなど、家中できれいな水がいつでもたっぷり使えます。

私たちクロスポイントは、セントラル方式浄化・活性システムのバイオニーマーカーとして、

素肌に安心、飲んで安全なきれいな水を、皆様の暮らしにお届けしています。

(※)
各地の異なる3ヵ所で、設置約4ヶ月後
にカートリッジ内の不純物を採取した
ものです。



「水」にできることを考える。
株式会社クロスポイント

〒802-0064 福岡県北九州市小倉北区片野4丁目21-14
TEL.093-931-3363 FAX.093-931-3383

URL <http://www.emizu.co.jp> E-mail crosspoint@emizu.co.jp



TRY! ZERO EMISSION PROJECT

クロスポイントは、環境保全のため使用済カートリッジのリサイクルに取り組みんでいます。



製品名 響瀬風力発電所

キャッチフレーズ 北九州市響瀬に面する日本初の港湾地区における風力発電事業。

分類 B.資源自立 (エネルギー資源)

素材・特徴 北九州市が建設を進めている環黄海圏ハブポート建設地に隣接する緑地帯で行っています。発電規模は出力定格1,500kwの発電機を10基設置しており、西日本最大級の風力発電所となります。

【企業名】 (株)エヌエス
ウインドパワーひびき

【所在地】 福岡県北九州市
若松区安瀬64番地
新日鉄(株)エンジニアリング若松工場内

【TEL.】 093-752-1803

【FAX.】 093-752-1859

【URL】

【MAIL】



製品名 次世代畜産床敷材【SBC発酵床】

キャッチフレーズ 家畜の糞尿処理を床材が解決。優良家畜育成に専念でき、収益アップも期待できます。

分類 B.資源自立 (エネルギー資源)

素材・特徴 農林業の未利用バイオマス資源を原材料とし、有用微生物を用いた家畜用床敷材。敷材が糞尿を分解し家畜舎から取り出す必要がない。本敷材の生産設備を導入することにより、各地域の未利用バイオマス資源の有効活用及び畜産振興を可能にする。

【企業名】
(株)ゴール

【所在地】 福岡県遠賀郡
水巻町緑ヶ丘2-3-11

【TEL.】 093-201-0020

【FAX.】 093-201-8514

【URL】 <http://www.geocities.jp/goaloffice1/>

【MAIL】 goaloffice1@ybb.ne.jp



製品名 みずまき でかにんにく

キャッチフレーズ 増殖物語 YUME888 ゆめパワー

分類 B.資源自立 (生物資源 食料)

素材・特徴 土壌改良材「ゆめ育土」で作られた「みずまき でかにんにく」は普通のんにくの約4倍の大きさで、一株直径12cm200g、1片がゴルフボール大(約50g)の巨大なんにくです。匂いは薄く、まるやかで上品な味です。

【企業名】
(有)ゆめ環境

【所在地】 福岡県遠賀郡
水巻町秋2丁目1-13

【TEL.】 093-202-2118

【FAX.】 093-202-2116

【URL】 <http://www.nosakakensetsu.co.jp>

【MAIL】 nosaka1@cronos.ocn.ne.jp



製品名 ゆめ育土

キャッチフレーズ ゆめ育土 いくとも使おう夢いくと

分類 B.資源自立 (生物資源 生物資源リサイクル)

素材・特徴 遠賀川の広大な河川敷の刈草や、県道・国道沿いの草や樹木を収集し細かく破砕し発酵させて作った土壌改良材。土を柔らかくし、通気性・透水性・保水性が向上します。

【企業名】
(有)ゆめ環境

【所在地】 福岡県遠賀郡
水巻町秋2丁目1-13

【TEL.】 093-202-2118

【FAX.】 093-202-2116

【URL】 <http://www.nosakakensetsu.co.jp>

【MAIL】 nosaka1@cronos.ocn.ne.jp



製品名 環境テクノス株式会社

キャッチフレーズ 環境分野の総合コンサルタント

分類 C.社会システム

素材・特徴 澄みきった青空と清らかな水、豊かな大地にあふれる緑。私たち「環境テクノス」のテーマは誰もが生き延びることに感動する「快適で健康な環境」を創ることです。最新のテクノロジーと地球を愛する温かいハートで幅広い環境分野に取り組んでいます。

【企業名】
環境テクノス(株)

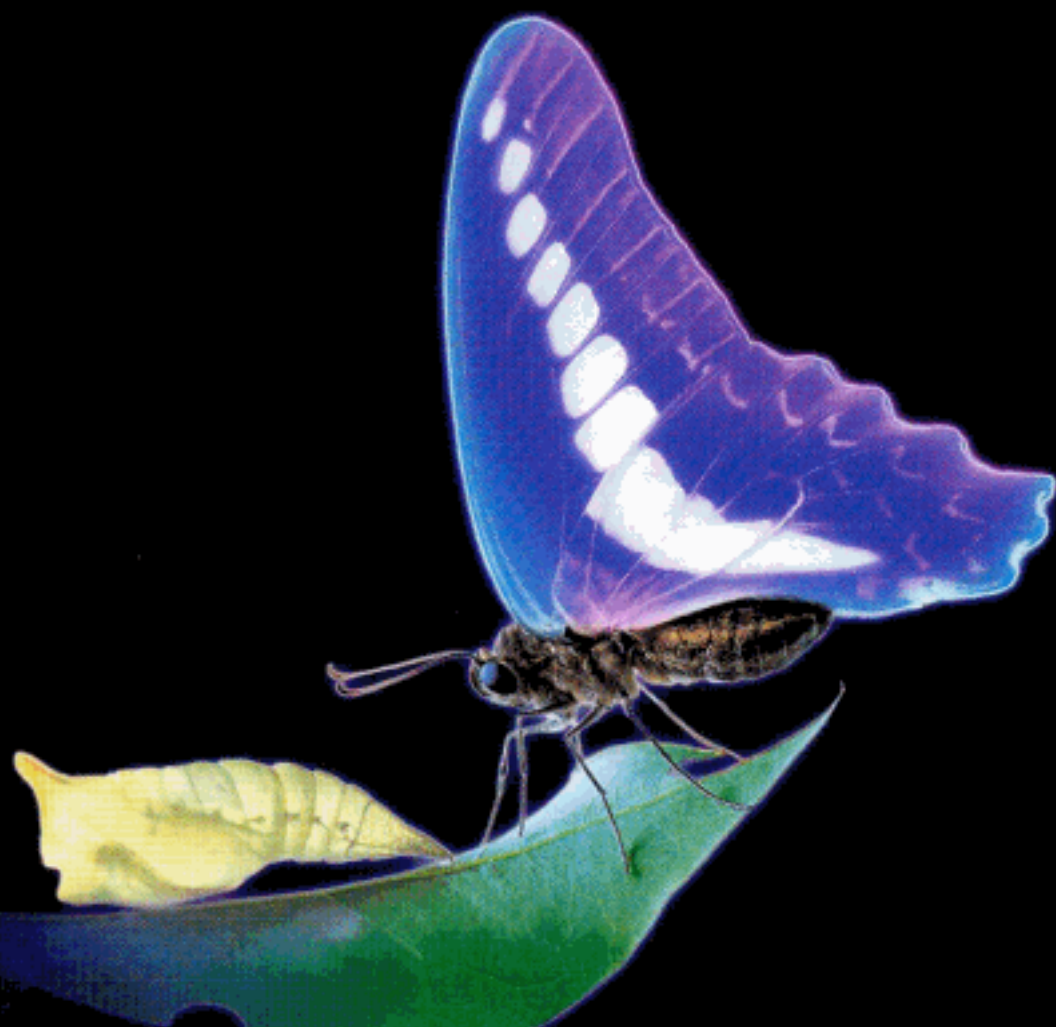
【所在地】 福岡県北九州市
戸畑区中原町2番4号

【TEL.】 093-883-0150

【FAX.】 093-883-0701

【URL】 <http://www.kan-tec.co.jp>

【MAIL】 iwamoto@kan-tec.co.jp



その日、街が目覚める。

「エリア価値創造」をコンセプトに、成長と発展の可能性を提案し、
地域に貢献することが、私たちの使命です。

新しい価値を創造する新日鉄都市開発

八幡東田、環境・情報・文化が融合する21世紀のコンパクトシティ

八幡東田はさまざまな機能が複合的に整備されたコンパクトシティです。各パークが明快なまちづくりの象徴を持つとともに、お互いに緊密に連携・融合しあって魅力的な街並みを形成します。この八幡東田のまちづくりのテーマは「環境」「情報」「文化」。1901年以來、東田の持つ深い歴史性と、この地区が発揮してきた先取性を新しい時代にも引き継いでいきます。



株式会社 新日鉄都市開発 九州支店

〒805-0071 福岡県北九州市八幡東区東田1丁目5番3号(北九州テレコムセンター2号館) TEL:(093)661-3811 FAX:(093)671-3572 <http://www.nscp-net.com/>



製品名 九州職業能力開発大学校

キャッチフレーズ 自立・創造型実践技術者を養成する大学校です。また、地域貢献等支援として企業等に対する共同研究、オーダ型セミナー等の企画・実施・創業・起業・新分野進出を支援します。

分類 C.社会システム

素材・特徴 当大学校は、4系(機械系・電気・電子系・居住系・情報系)9科の構成です。また、附属の川内短大(鹿児島)があり3系4科の構成となっています。

【企業名】
九州職業能力開発大学校

【所在地】 福岡県北九州市
小倉南区志井1665-1

【TEL.】 093-963-8352

【FAX.】 093-963-8387

【URL】 <http://www.ehdo.go.jp/fukuoka/kpc/index.htm>

【MAIL】
enjoka@kyushu-pc.ac.jp

八幡東田総合開発



製品名 土地の持つ価値を、
最大限高めていくソリューション

キャッチフレーズ 工場跡地や住宅跡地など遊休地開発に豊富な経験を活かし、新しい価値を生み出すソリューションを実現します

分類 C.社会システム

素材・特徴 大規模遊休地の再開発やマンション分譲、ビル・住宅の賃貸・管理をはじめ、不動産事業の領域を超えた多角的サービスまで、長年の経験から培ってきた多くの実績とノウハウで、ますます高まる都市再生のニーズに最適なソリューションを提供してまいります

【企業名】
(株)新日鉄都市開発 九州支店

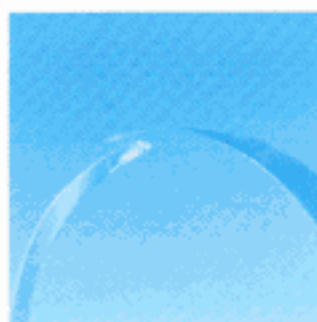
【所在地】 福岡県北九州市
八幡東区東田1-5-3

【TEL.】 093-661-3811

【FAX.】 093-671-3572

【URL】 <http://www.nscp-net.com>

【MAIL】
corporate@nscp-net.com



製品名 ストック型都市開発コンサルティング

キャッチフレーズ プランニングから具体的な実行支援まで、長寿命型建築物を核とするストック型街づくりをバックアップ

分類 C.社会システム

素材・特徴 社会システム研究・設計、プランニング、ファイナンス、法制・規制、評価・補償など

【企業名】
(株)ソリュート総合研究所

【所在地】 福岡市博多区博多駅東
2丁目6番1号 九勤筑業ビル3階

【TEL.】 092-436-4858

【FAX.】 092-436-4859

【URL】 <http://www.solute.co.jp>

【MAIL】
info@solute.co.jp



製品名 災害リスクと地球温暖化対策の
コンサルティング

キャッチフレーズ 自然災害リスクの低減と
自然エネルギー利用に関するコンサルティング

分類 C.社会システム

素材・特徴 地震や洪水などの自然災害を想定したハザードマップによるインフラの適正配置や、自然エネルギーの導入に関するコンサルティングを通じ、ストック型社会の設計のお手伝いをいたします。

【企業名】
(財)日本気象協会

【所在地】 東京都豊島区東池袋
3-1-1 サンシャイン60 55F

【TEL.】 03-5958-8153

【FAX.】 03-5958-8157

【URL】 <http://www.jwa.or.jp/>

【MAIL】
yasuki@jwa.or.jp



製品名 ストック型社会に関する次世代システム
理論形成・社会市民向け啓蒙活動

キャッチフレーズ ストック型社会に関する理論形成、市民向け啓蒙活動

分類 A、B、C(総合)

素材・特徴 1998年の発足以来、(社)北九州青年会議所メンバーを中心に Economy as Ecologyの視点でシンポジウムの開催や冊子の配布、また教育プログラムの考案などを通じ啓蒙活動を行っています。

【企業名】(社)北九州青年会議所内
エコエコ研究会

【所在地】 福岡県北九州市
小倉北区吉船場1-35-6F

【TEL.】 093-531-7910

【FAX.】 093-551-0212

【URL】 <http://www.kitakyushu-jc.jp/ecoeco/>

【MAIL】
room@kitakyushu-jc.jp

私たちは、次世代に向けカストック

上村紙業(株)



カタムラ建設



(株)川口工務店



九州物流(株)



(株)サンスカイホテル



the only original one
by kiyoshi abiru



(株)宣研



(株)高田工業所

型社会の考えに賛同しています。

(有)デコム



富下公認会計士事務所



(株)日建設計



メガネのトシマ



(株)福山組



丸西商事(有)



(株)木鶏



山内税理士事務所

(五十音順)

プランニングから具体的な実行支援まで、
幅広いリサーチ、コンサルテーション、コーディネーションで
長寿命型建築物を核とするストック型街づくりをバックアップ。

社会システム研究・設計、プランニング、ファイナンス、法制・税制、評価・補償など
不動産のエキスパート集団「ソリュート・グループ」のネットワークにおまかせください。

株 ソリュート総合研究所

所在地 本 社 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目6番1号 九軌筑紫通ビル3階
Tel: 092-436-4858 Fax: 092-436-4859 E-Mail: info@solute.co.jp
長崎支社 〒850-0032 長崎県長崎市興善町4番6 岩座ビル501
Tel: 095-823-2229 Fax: 095-823-2229 E-Mail: nagasaki@solute.co.jp
URL | www.solute.co.jp

事業内容 ●広域的不動産評価・調査 ●バリュー・マネジメント事業 ●特殊案件に係る不動産評価
●不動産投資コンサルティング ●不動産市場の調査・分析 ●総合調査研究
●開発事業等の総合コーディネート ●総合経営コンサルティング

登録 ●不動産鑑定業登録 国土交通大臣登録(1)第229号 ●一般不動産投資顧問業登録 一般-000275号 ●経費コンサルタント登録 種17第3764号

ソリュート
グループ

株 鑑定 ソリュート福岡 株 鑑定 ソリュート佐賀 株 鑑定 ソリュート熊本
株 鑑定 ソリュート宮崎 株 鑑定 ソリュート鹿児島 株 鑑定 ソリュート沖縄

●不動産価格・地代等の鑑定評価およびコンサルティング

㈱ ソリュート・アーバン・マネジメント

●損失補償・市街地再開発・土地高整理事業・リニューアル事業・PM事業コンサルティング
●建物診断・インスペクション



(学)九州国際大学 次世代システム研究所
出版物のご案内



「生態系が語る
 日本再生」

発行所：日本経営協会総合研究所
 (2,600円＋税)
 所長／岡本 久人 著

「ストック型社会
 ～あなたの未来を豊かにする
 日本の変え方～」

発行所：電気書院
 (1,500円＋税)
 所長／岡本 久人 著



「ストック型社会への転換
 長寿命化時代のインフラづくり」

発行所：鹿島出版会
 (2,400円＋税)
 所長／岡本 久人 著

「建設産業、新“勝利の方程式”
 ～50万経営者のための
 ナレッジマネジメント」

発行所：日刊建設通信新聞社
 (1,500円＋税)
 主任研究員／五十嵐 健 著

発刊 予告

「ゆとりある国・日本の作り方」
 —— ストック型社会転換マニュアル ——

発行所：電気書院 (2,600円＋税)
 次世代システム研究会 編

ストック型社会システムに関する主な活動

| | |
|------------|--|
| 2004.9.20 | 講演・シンポジウム・論文等活動（主催者・依頼者） 論文 研究技術計画第19巻「科学技術研究成果を日本国民の利益・資産化するための提言」 研究・技術計画学会 |
| 2005.2～現在 | 論考「長く使える家造り」 社団法人全日本建築士会機関誌「住と建築」掲載 |
| 2005.5 | 論文「持続可能な社会の形成に向けた住宅評価システムの開発」 日本建築学会建築技術報告集(査読論文)第21号掲載 |
| 2005.7 | 論文「良質な住宅ストック普及によるCO ₂ 削減効果の考察」 日本建築学会建設精進シンポジウム発表論文掲載 |
| 2005.10 | 連載「建設研究」 |
| 2005.10 | 論考「ストック型社会と建築」 社団法人建築研究家協会機関誌「建築の研究」掲載 |
| 2005.11.12 | ストック型社会の形成に向けての講演会 産学官による九州・山口地域における「資源自立・長寿命型社会形成」プログラム 基調講演「資源自立・長寿命型社会とは ～ECO-ECO理論～」 (九州経済産業局産学官連携推進室 助成事業) |
| 2005.11.25 | 環境フォーラム 「ストック型社会への転換の必要性と考え方 ～環境問題・経済問題・生活の豊かさを統合的に解決する～」 (長野県/信州エコタウン研究会) |
| 2005.11.26 | 日本建築学会都市マネジメントシンポジウム |
| 2005.12 | 論文「建築マネジメント人材育成のための試行講座での事業戦略意識の醸成に関する効果分析」 日本建築学会建築技術報告集(査読論文)第22号掲載 |
| 2006.1～現在 | 連載(全10回)「めぞう! ストック型社会 [転換の必要性とその実現プロセス]」 新建築新聞社 建設業経営者研修会(社団法人建設業振興協会) |
| 2006.2.1 | FM KitaQ ラジオ出演 「ガイアの風 ～WIND of GAIA～」 |
| 2006.2.4 | 銀座十字星トークショー 「明るい未来のために、今 私たちができること ～ストック型社会のすずめ～」(十字星ホール) |
| 2006.2.17 | 「ストック型社会への転換」(パナソニックコミュニケーションズ労組政策研究会) |
| 2006.2.24 | ポリテックビジョン2006 基調講演「持続可能な社会が求める住宅・建築・都市とは」 (九州職業能力開発大学校) |
| 2006.3 | 論考「成熟型社会に向けて豊かさの持続する街づくり」 宇都宮行政センター刊「街づくり論集II」掲載 |
| 2006.3.11 | 九州産科大学 (シンポジウム講演) |
| 2006.4.4 | FM KitaQ ラジオ出演 「ガイアの風 ～WIND of GAIA～」 |
| 2006.4.14 | 第47回産学官交流研究会(通称:ニ国会) 「めぞう! ストック型社会 ～転換の必要性とその実現プロセス～」 (九州経済産業局産学官連携推進室) |
| 2006.5.13 | FM KitaQ ラジオ出演 「ガイアの風 ～WIND of GAIA～」 |
| 2006.5.29 | 今後の住宅政策に関するヒアリング (国土交通省住宅局) |
| 2006.7.7 | 住宅土地調査会 (自由民主党政務調査会) |
| 2006.7.24 | 少子高齢化セミナー (日本建築学会) |
| 2006.9.7 | クリーナープロダクション 海外技術者研修 (KITA/JICA) |
| 2006.9.21 | 平成18年度 北九州地区公立高等学校教頭協会第一回研修会 「エコロジーから見える日本の社会システム」(北九州地区公立高等学校教頭協会) |
| 2006.11.17 | 平成18年度 産学官連携事業 「産学官連携による九州地域における「ゆたかな社会の作り方」事例と紹介」 (九州経済産業局産学官連携推進室 助成事業) |
| 2006.11.23 | 北九州市・下関市建築士会合同シンポジウム 関門景観に関するシンポジウム (北九州市・下関市建築士会) |

2006年11月発行

発行・編集/次世代システム研究会 ストック社会形成カタログ編集グループ

〒805-0059

北九州市八幡東区尾倉2丁目6-1

(学)九州国際大学 次世代システム研究所内

TEL/093-661-8772 FAX/093-661-1612